

タイトル「**2023年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅱ		
担当教員	鈴木 秀洋		
対象学年	1年,2年	開講学期	後期
曜日・時限	金 4		
講義室	1301	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	統合演習		
科目中分類	危機の大学院修士課程カテゴリ		
科目小分類	4 統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 [意欲・経験・適性] 児童虐待、DV、ストーカー、性虐待、ジェンダー、LGBTQ対応、災害等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（20%） DP2 [学識・専門技能] 児童虐待、DV、ストーカー、性虐待、ジェンダー、LGBTQ対応、災害等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、福祉、教育、心理、保健・医療、行政・司法、社会学、法学等の知見を統合した応用的な知識と技能（20%） DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（40%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（20%）		
教員の実務経験	東京23区において、20年以上公務員として、法務（立法、訟務）、人事、監査、秘書（総務課長補佐）、危機管理課長、男女協働課長、子ども家庭支援センター所長等の実務経験がある。 担当教員の実務経験を踏まえて理論と実務を架橋する講義を行う。実務経験を踏まえた具体的事案の提示等はすべての授業回において行う（1回目から15回）。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法等を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行う。本演習では、危機管理学、法学に関する研究論文の執筆にあたっての、論文のアウトライン策定と考察・叙述、ディスカッションの活性化、プレゼンテーションの実質化を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。 授業は演習形式によります。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためにオンライン授業を取り入れる場合があります。 ■キーワード： 研究手法、テーマ探求、先行研究、資料収集、資料分析		
授業の趣旨	■副題 社会的弱者にしない危機管理行政法務 ■授業の目的 社会的弱者の生活していく上での命に関わる危機を題材に、法学、危機管理学その他の学問分野にまたがる研究テーマの探求、研究手法の修得、研究成果のまとめと発表の各過程を通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の各汎用的能力を開発することを目的とします。 ■授業のポイント 本演習では、本演習では、学生による自主的な研究活動を通じて、虐待、DV、ストーカー、L B G T Q、性被害、いじめ・体罰、避難所における災害時要配慮者等いわゆる社会的に弱者の立ち位置に置かれ、命の危機などに直面している人々にフォーカスを行い、諸課題を様々な学問分野からアプローチを行い、実務解決策への広範かつ高度な応用法学分野としての考察・提言を行う。ここでは、2年間の研究計画の立案、進捗の各ステップの確認を行います。		
総合到達目標	■危機管理学及び法学に関する問題を論理的・批判的に考察することができる。 ・社会的弱者にかかる諸問題を、実状と法制度を把握・理解した上で、考察対象として認識することができる（第1回～15回）。 ・社会的弱者にかかる諸問題を、自己の経験や目標と関連付け、学修意欲につなげることができる（第1回～15回）。 ■危機管理学と法学に関する問題を科学的な手法によって分析することができる。 ・社会的弱者にかかる重要問題を特定し、それに対する結論を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うことができる（第1回～15回）。 ・社会的弱者にかかる重要問題の分析を、他者との協調により多角的、批判的に行うことができる（第1回～15回）。 ■危機管理学と法学に関する問題を論理的に解釈し、その成果を適切に表現することができる。 ・社会的弱者にかかる資料について、用語の意義や文脈を適切に把握しつつ、活用可能な知識として取り込むことができる（第1回～15回）。 ・社会的弱者にかかる諸問題について、十分な根拠をもって、必要な推論を展開することができる（第1回～15回）。 ・社会的弱者の諸問題について、目的、構成、内容に配慮しつつ、分野固有の規律に従って、口頭又は文章によるコミュニケーションを適切にとることができる（第1回～15回）。		
成績評価方法	■授業参加度（15回）75% （評価の観点）学術的な姿勢、計画性や実行力を評価します。 （フィードバックの方法）演習中、必要に応じてコメントします。 ■実技・パフォーマンス（1回）25% （評価の観点）学術研究としての水準、プレゼンテーションの技術、配布資料の完成度を評価します。 （フィードバックの方法）プレゼンテーションに引き続き、講評を行います。 ■DP3（思考力・判断力・表現力）を重視し、かつDP2（学識・専門技能）、DP4（主体性・多様性・協働性）を踏まえた評価とする。		

履修条件	特になし	
履修上の注意点	特になし	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス、社会的弱者にかかる危機管理の射程 ②授業概要 授業目的（実務経験を踏まえて）及び半年間15回の授業の流れを理解する。この演習で扱う社会的弱者（社会モデル）の意義と射程について考察する。（以下2回～15回全て実務の状態を踏まえる）（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第1章を読み、視座・視点の理解をする。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、社会における事案の確認を行う。
	2	①授業テーマ 児童虐待をめぐる危機管理 ②授業概要 児童虐待をめぐる法制度の歴史と現状・課題を確認する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第2章を読み、視座・視点の理解をする。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、児童虐待をめぐる課題の理解を深める。
	3	①授業テーマ 児童虐待をめぐる死亡事例の検証 ②授業概要 児童虐待をめぐる死亡事例及び検証報告書を分析し、検討する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 野田市児童虐待死事件、札幌市児童虐待死事件その他死亡事例検証報告書を読み、事案を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、死亡事例の課題と展望をまとめる。
	4	①授業テーマ 児童虐待をめぐる関係機関の連携と協働 ②授業概要 児童虐待をめぐる市区町村と児童相談所と学校・教育委員会と警察の連携・協働について制度及び事案検討を行う。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第2章を読み、連携・協働の法制度設計等を理解しておく。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、連携・協働の好事例等を調査する。
	5	①授業テーマ DVをめぐる危機管理 ②授業概要 DVをめぐる法制度の歴史と紛争事案に対する現行法制度の課題（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第3章を読み、現行法制を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、今後の法改正の展望等について課題をまとめる。
	6	①授業テーマ ストーカーと危機管理 ②授業概要 ストーカー規制の法制度改正の経緯と課題を検討する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第3章を読み、これまでの重大事案と現行制度までの変遷を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、ストーカー対策の課題と展望をまとめる。
	7	①授業テーマ 性的マイノリティと危機管理 ②授業概要 LGBTQ+・SOGIE施策のこれまでの自治体及び国の動きを検証する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第5章を読み、国と自治体の制度設計を確認する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、自治体の条例・要綱等の比較を行い整理する。
	8	①授業テーマ 性的マイノリティをめぐる裁判事例 ②授業概要 性的マイノリティの施設使用や職務遂行上の差別等をめぐる裁判事例を検討する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書①鈴木秀洋『行政実務ハンドブック』、教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第5章の該当裁判検討箇所を読み、事案を理解する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、判決をまとめるとともに判決がその後の行政に及ぼす影響についてまとめる。
	9	①授業テーマ ジェンダーと危機管理 ②授業概要 セクシュアル・ハラスメントにかかる裁判事例を検討するとともに法・条例等の取組を検証する。（DP-1、2、3、4） ③予習（120分） 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第4章を読み、現在の法制度及び課題を把握する。 ④復習（120分） 講義ノートを作成して、セクシュアル・ハラスメントに対する必要な対応策をまとめる。

10	①授業テーマ 性暴力・性被害と危機管理 ②授業概要 性暴力・性被害の裁判事例の検討、防止のための刑法等法改正の検討状況、性的合意プログラムの検討、心理学・ジェンダー学からのアプローチの検討。(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第4章を読み、裁判事例や現行法制度の課題を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための司法の取組、心理学・ジェンダー学からのアプローチをまとめる。
11	①授業テーマ 高齢者、障害者差別と危機管理 ②授業概要 高齢者虐待と障害者虐待の現状と法制度の検討、共生社会の実現のための自治体・国の取組の検討(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第6章を読み、現行法制度の課題を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための法改正の方向性についてまとめる。
12	①授業テーマ 災害と危機管理 ②授業概要 ・災害時要配慮者のための福祉避難所設置状況を把握し、法律・ガイドラインの詳細を検証する。 ・避難行動要支援者の法制度設計の現状と課題について検討する。(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第7章を読み、福祉避難所・災害時要配慮者・避難行動要支援者をめぐる現状と課題を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための論点を整理する。
13	①授業テーマ 学校防災と危機管理 ②授業概要 大川小津波訴訟を詳細に検討し、学校防災の課題と子どもたちの命を守るための解決策を検討する。(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第7章及び行政救済実務ハンドブックの該当箇所を読み、事案の詳細を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための論点を整理する。
14	①授業テーマ 学校の安全・安心と危機管理 ②授業概要 部活での指導死事件(剣太君事件)をめぐる裁判経緯を辿り、学校の安全安心の制度設計を検証する。(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書①鈴木秀洋『行政実務ハンドブック』の該当箇所を読み事案の詳細を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための論点を整理する。
15	①授業テーマ 犯罪被害者等支援に関する危機管理 ②授業概要 ・犯罪被害者等支援の法制度設計の検討 ・遺族感情理解と支援の現状と課題について事例検討を行う。(DP-1、2、3、4) ③予習(120分) 教科書②鈴木秀洋『社会的弱者』第8章を読み事案の詳細を把握する。 ④復習(120分) 講義ノートを作成して、課題解決のための論点を整理する。
関連科目	危機管理法制5(行政・地域)、地域防災連携実務特講
教科書	①鈴木秀洋(2021)『(改訂)自治体職員のための行政救済実務ハンドブック』(第一法規)ISBN978-4-474-07383-8、②鈴木秀洋(2021)『虐待・DV・性被害・災害等から市民を守る社会的弱者にしない自治体法務』(第一法規)ISBN978-4-474-07165-0、③鈴木秀洋(2019)『子を、親を、児童虐待から救う』(公職研)ISBN978-4-87526-392-0、④鈴木秀洋(2020)『行政法の羅針盤』(成文堂)ISBN978-4-7923-0667-0。四冊使用
参考書・参考URL	鈴木秀洋研究室HP
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。■オフィスアワー 掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。
研究比率	■災害マネジメント15%、パブリックセキュリティ65%、情報セキュリティ15%、グローバルセキュリティ5% ■危機管理学40% 法学60%

